

「令和5年度埼玉県公労使会議」を開催

埼玉労働局雇用環境・均等部企画課

令和6年2月8日（木）にホテルブリランテ武蔵野（さいたま市中央区）において、行政や県内の労使団体で構成する「令和5年度埼玉県公労使会議」を開催しました。



今回の会議は、宮崎政久厚生労働副大臣や大野元裕埼玉県知事、連合埼玉や県経営者協会などの代表12名が出席して、「賃金引上げ」に向けた環境整備等について議論がなされました。

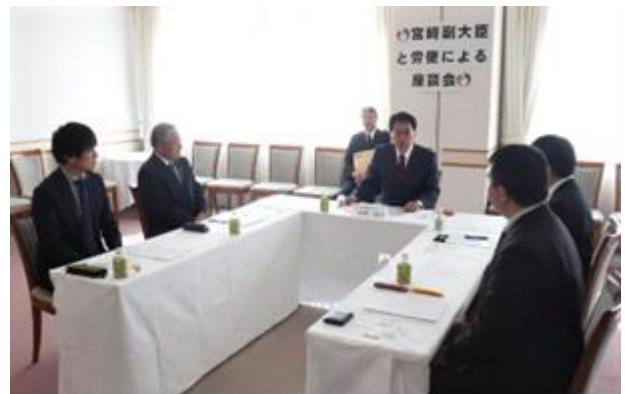


会議は、久知良俊二埼玉労働局長の進行により、冒頭の宮崎副大臣、大野知事の挨拶の後、各行政・団体の出席者から「賃金引上げ」に向けた取組、「年収の壁」を意識せずに働くことができる環境づくりに向けた取組、労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針などについて、それぞれ発言があり意見交換が行われました。



会見する宮崎副大臣（右）と大野知事（左）

また、会議後に、ぶら下がり会見があり、副大臣と知事がそれぞれ見解を申し述べるとともに、記者からの取材に対応して、本会議を終了しました。



さらに、会議終了後には、別室において、「宮崎副大臣と労使による座談会」を開催し、使側に株式会社デサンの藤池誠治代表取締役会長・埼玉県雇用対策協議会副会長と株式会社キットセイコーの田邊弘栄代表取締役・一般社団法人行田地区労働基準協会会長らが参加して、第一線における賃金引上げ等について、副大臣が労使と情報交換を行いました。